

子育て支援総合センター

茨木市は、子育てにかかわるすべての機関、地域、市民の人たちとネットワークを組み、子どもたちを見守っていくことをめざしています。

茨木市立子育て支援総合センターは、乳幼児の子育てについての相談やその他の支援を行い、乳幼児の健やかな成長を図ることを目的に開設されました。



手作りの表示板

子育て相談など

子育てや児童虐待などの相談は、保育士、心理判定員、総合相談員が対応しています。親にとっては、子どものちょっとした行動も気になるものですが、ささいなことでも電話で気軽に相談できます。昨年8月の開所以来、200件を超える相談があったそうです。

面接相談では、子どもやその保護者に必要に応じて、心理療法（セラピー）も行われます。この相談は予約が必要です。また体への暴力や言葉の暴力、育児放棄などの児童虐待の相談も受けています。相談は子ども自身、保護者、ご近所の方など、どなたでもできます。子どものわずかな変化や心身が傷ついているのではと思うようなことがあれば相談してください。解決に向けて、関係機関と連携し対応してくれます。

「子育てにはさまざまな不安がありますが、育児はこうあるべきという思い込みを無くすことも大切なことです。気軽に相談してください」と当センターの所長が話してくださいました。

| | |
|--------|------------------------------|
| 電話相談 | 火曜日 10:00～16:00 624-0961 |
| 面接相談 | 水曜日 予約が必要です。 |
| 児童虐待相談 | 月～金曜日 9:00～17:00 624-8951 |

つどいの広場

つどいの広場は、いつでも好きなときに親子で遊びに行くことができ、気軽に集い、語り合い、交流が図れる場です。就学前の乳幼児をもつ保護者とその子どもが対象です。子育て支援総合センターには「ぽっぽルーム」があり、原則として、保育ボランティア2人が見守っています。取材に訪れた日には、多くの親子が楽しそうに遊んでいました。市内にはこのほか7カ所につどいの広場があります。市では平成21年度（2009年度）までに、合計14カ所の広場の設置を目標にしているとのことです。

| つどいの広場 開設場所 | |
|---------------------|----------------------------------|
| 森のひろば | 水尾三丁目16-25 637-5550 |
| ふくろう広場 | 耳原一丁目9-10 643-2968 |
| おおいけ | 園田町15-25 ひかりハイツ101 633-5890 |
| こえんひろば | 中総持寺町4-16 ハイツ中総1階 667-8343 |
| ほっとメイト広場 | 沢良宜浜三丁目9-5 667-6555 |
| るんぴに広場 | 東太田二丁目9-32 667-6544 |
| ちゃちゃはうす | 下穂積一丁目6-21 コーポエコー101 664-6331 |
| 開館日・時間は各施設によって違います。 | |



ぽっぽルーム



| 茨木市立子育て支援総合センター | |
|--------------------|-----------------------|
| 開館日 | 月～金曜日 |
| 開館時間 | 9:00～17:00 (祝日は休館) |
| TEL | 567-0885 |
| FAX | 624-9301 |
| | 624-9302 |
| 茨木市東中条町2-13 合同庁舎4階 | |

担当：小山 西村 林田

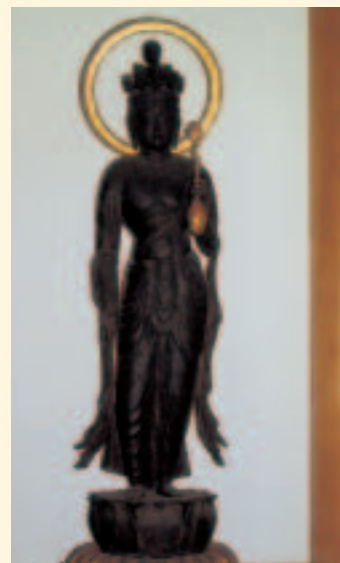
指定文化財を訪ねて ～仏像に見る美と心～

茨木には、仏像や絵画、工芸品などの市指定文化財のほか、府や国の指定文化財があります。今回、『まなびどり』編集ボランティアは、三カ所の古寺を訪ねました。

歴史の中に埋もれることなく、大切に受け継がれた仏像の美しさと境内の静寂に、心が洗われるひとときでした。



大門寺山門



木造十一面観音立像（蓮花寺）

木造^{じゅういちめんくわんのん}十一面観音立像
蓮花寺
大阪府指定文化財
天王二丁目
ヒノキ材の寄木造りで、額の中央に水晶がはめ込まれている。像高は144.1cm。胸から腰にかけての曲線や流れるような衣の表現は平安後期の作風。強い腰のひねりなどは鎌倉初期の特色で、平安末期の様式を含む鎌倉初期の作と考えられている。



木造毘沙門天立像（大念寺）

木造^{びしゃもんてん}毘沙門天立像
大念寺
茨木市指定文化財
安威三丁目
ヒノキ材の寄木造りで、眼には玉がはめ込まれている。像高は99.6cm。力強い姿と薄い衣の質感などから鎌倉時代の作とみられ、衣の表現が誇張されていることから鎌倉時代でも中期～後期の作と考えられている。

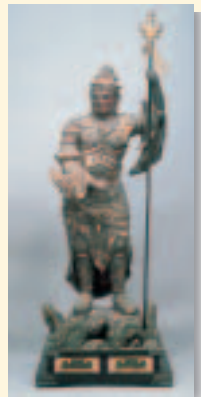


木造地藏菩薩立像（蓮花寺）

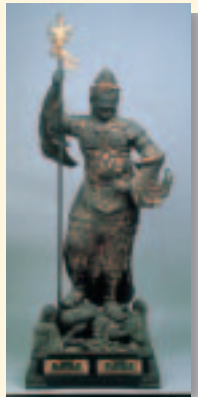
木造^{じざうぼさつ}地藏菩薩立像
蓮花寺
大阪府指定文化財
天王二丁目
クス材の一木造りで、像高は114.5cm。

温和な表情で、胸や腿の肉付きから若い托鉢僧の姿を描き出した力強い像との見方もある。平安時代の作。

木造^{してんのう}四天王立像
^{しこくてん}持国天 ^{そうちやうてん}増長天
大門寺
国指定文化財（重要文化財）
大字大門寺
ヒノキ材の寄木造りで、像高は、持国天は101.0cm、増長天は105.6cm。京風の作りを持つ。平安時代の作。
広目天と多聞天は、大阪市立美術館に貸出中。

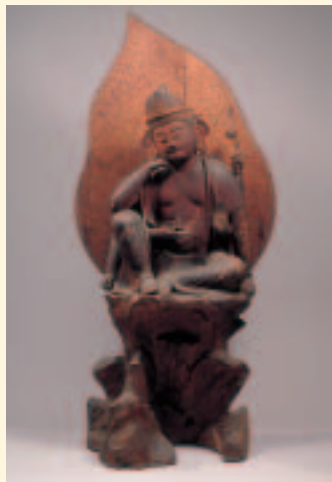


持国天（大門寺）



増長天（大門寺）

大門寺の木造如意輪観音座像と木造四天王立像は、実際の仏像を見ることができず、ご住職の説明による取材でした。



木造如意輪観音座像（大門寺）

木造^{にょいりんくわんのん}如意輪観音座像
大門寺
国指定文化財（重要文化財）
大字大門寺
クス材の一木造りで、像高は58.6cm。

蓮弁ではなく、岩をかたどった上に半迦思惟の姿で座している。光背はヒノキ材。平安時代の作。

担当：阿曾 野間